

## 青少年・環境委員会 基本方針（案）

青少年・環境委員会 委員長 畠中 隆嘉

1     近年、情報通信技術の急速な革新により社会構造が大きく変化している今、また昨年の  
2 新型コロナウイルス感染症流行の影響で地域社会でも情勢が変わり、子ども達が成長して  
3 いく上で必要な心の学びや人と人が直接コミュニケーションを取る機会が困難化しており  
4 様々な体験を得る機会が極めて少なくなっています。子ども達の人格形成や、心と体  
5 が育まれる場を提供し、寛容大度な人材に育て時代や環境が変わっても、人に優しく思い  
6 やりの心の大切さを伝えていくことが必要です。

7     まずは、一般社団法人佐賀青年会議所が一致団結をして青少年育成事業に取り組むため  
8 に、現在の社会構造や大きく変わった情勢、子ども達が置かれている現状を知っていただ  
9 く場を設けることで、関心を持つてもらいメンバーの参加意識の向上を図ります。そして、  
10 子ども達が地域に魅力を感じ愛着を持つために、様々な世代の人と交流を図ることで、コ  
11 ミュニケーション能力を高め、多様性のある心を育み、佐賀の次代の担い手として自己成  
12 長できる場を提供します。さらに、オンラインによるコミュニケーションが日常化し、柔  
13 軟に対応できる能力が必要であることを認識するために、IT教育を誰しもが十分に受け  
14 ていない親世代の大人とITが身近にある子ども達が共に学び、良し悪しを理解すること  
15 で、ITを活用した多様な体験活動を通して、人と人がふれあう温かさを感じ社会性を高  
16 め、時代や環境が変わっても、思いやりや感謝、心の成長ができる事業を構築します。また環境  
17 では地域に愛着を持って暮らせるために、諸先輩が続けてこられた河川清掃を4月  
18 と10月に実施し、地域環境の美化、大切さを継承します。そして地域発展の為に第一線  
19 で活動をし、数々の功績を残してこられた卒業生に感謝の気持ちと精一杯の恭敬の心を込  
20 めて、卒業生を送る会を開催し、更なる友情を深めます。

21     青少年育成事業を通して未来ある子ども達が人と人との繋がりを大切にし、感性を育み、  
22 大きな時代の変遷に打ち勝つていけるよう闘志の心を持って力強く闘い、現在（いま）を  
23 生き抜き次代へつないで参ります。

24

25

26 [事業計画]

- 27     1. 青少年事業の企画・運営（7月）
- 28     2. 河川清掃（4・10月）
- 29     3. 例会の企画・運営（5月）
- 30     4. 卒業生を送る会の企画・運営（12月）
- 31     5. 佐賀ブロック大会参加者への支援（6月）
- 32     6. 会員拡大 拡大目標 委員会5名（通年）